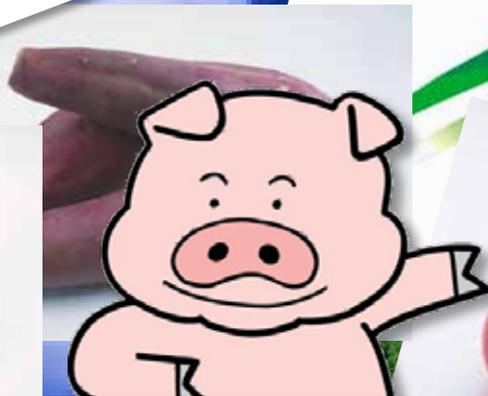


統計で見る



九州農業の概要



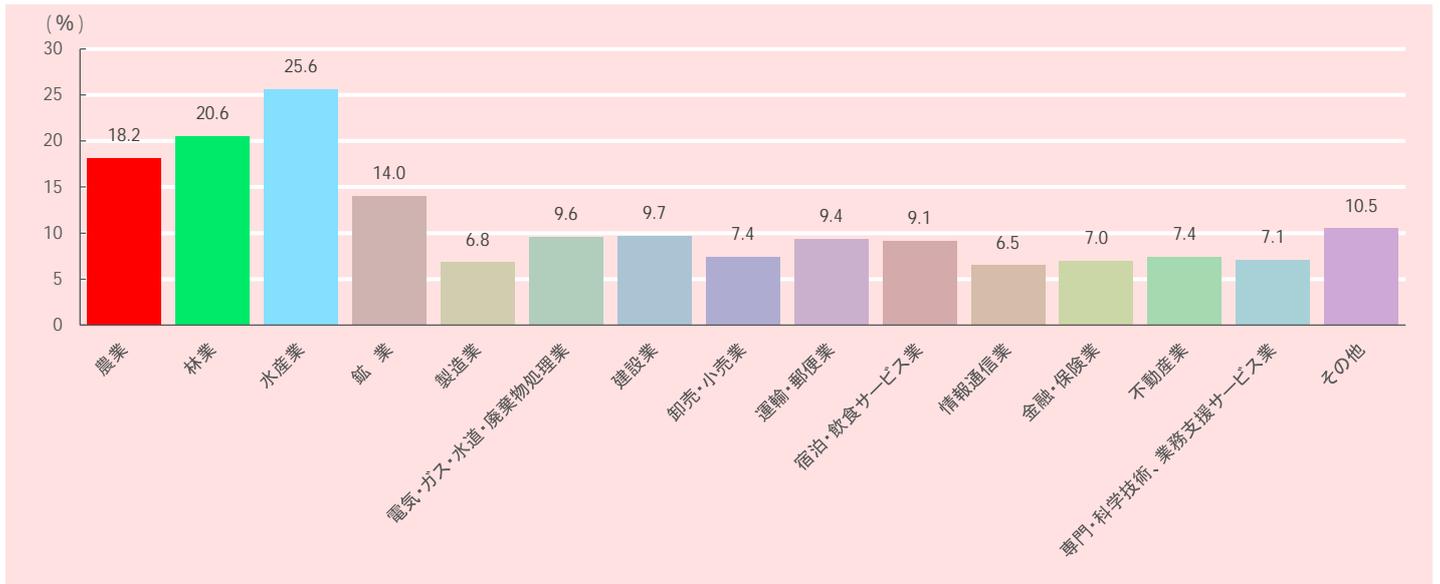
令和5年7月

九州農政局統計部

農林水産省

九州は全国の食料供給基地となっています。

九州における産業別にみた生産額のシェア（令和元年度）



資料：内閣府「県民経済計算」

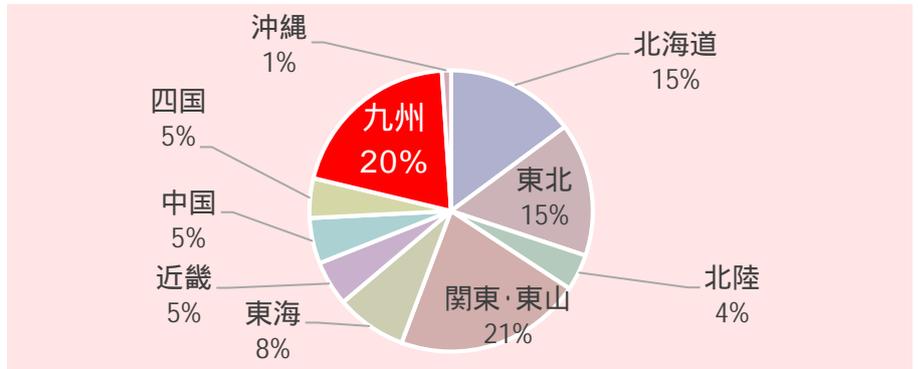
総面積、総人口、主要経済指標が概ね1割程度を占めていることから、九州は「1割経済」といわれています。しかし、農業部門では全国の約2割を占めており、九州では農業のウェイトが大きいことがわかります。

九州産の野菜は、九州以外の地域へ多く出荷されており、特に関東や近畿地方への出荷割合が高くなっています。

九州で生産される主な農畜産物の全国シェアを見ると、プロイラー、茶、肉用牛、いちごなどで高くなっており、多彩な品目を有する九州は日本の食料供給基地となっています。

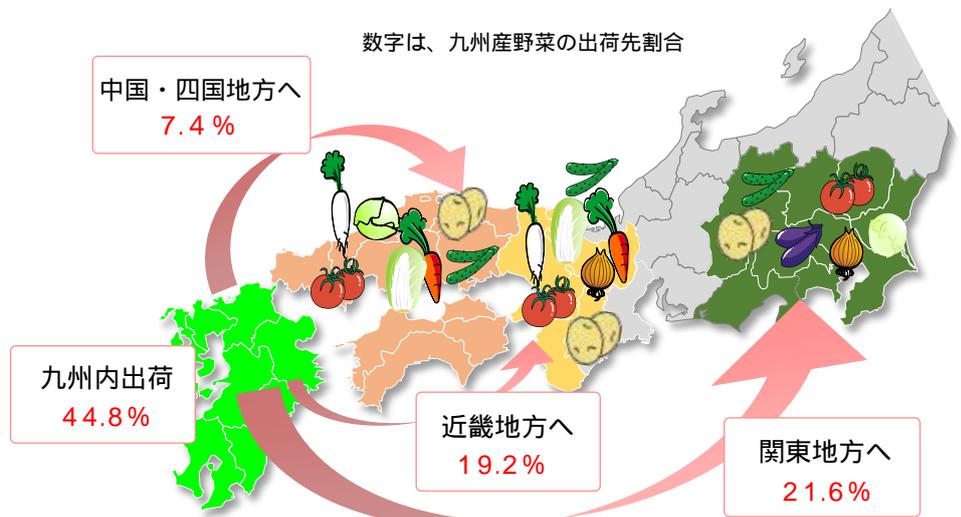
県別にみると、いずれの県においても畜産部門が上位に位置しています。

農業産出額の全国シェア（令和3年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計（都道府県別推計）」

九州産野菜の出荷先（令和3年）

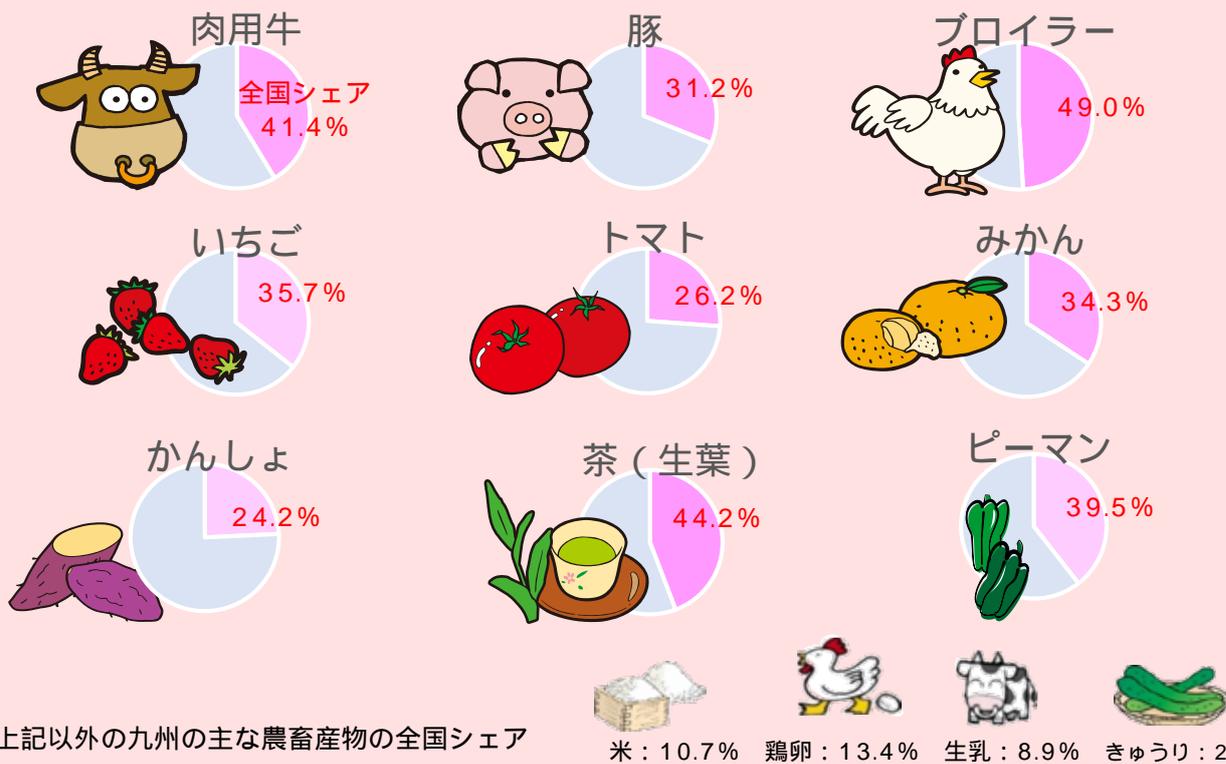


資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場統計」

農業産出額とは...

農業産出額は、その年の農業生産活動によって生み出された品目別の生産量に、品目別の農家庭先販売価格を乗じて算出されたものです。農業生産の実態を金額で評価（比較）することができます。

全国シェアの高い九州の主な農畜産物（令和3年農業産出額）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計（都道府県別推計）」

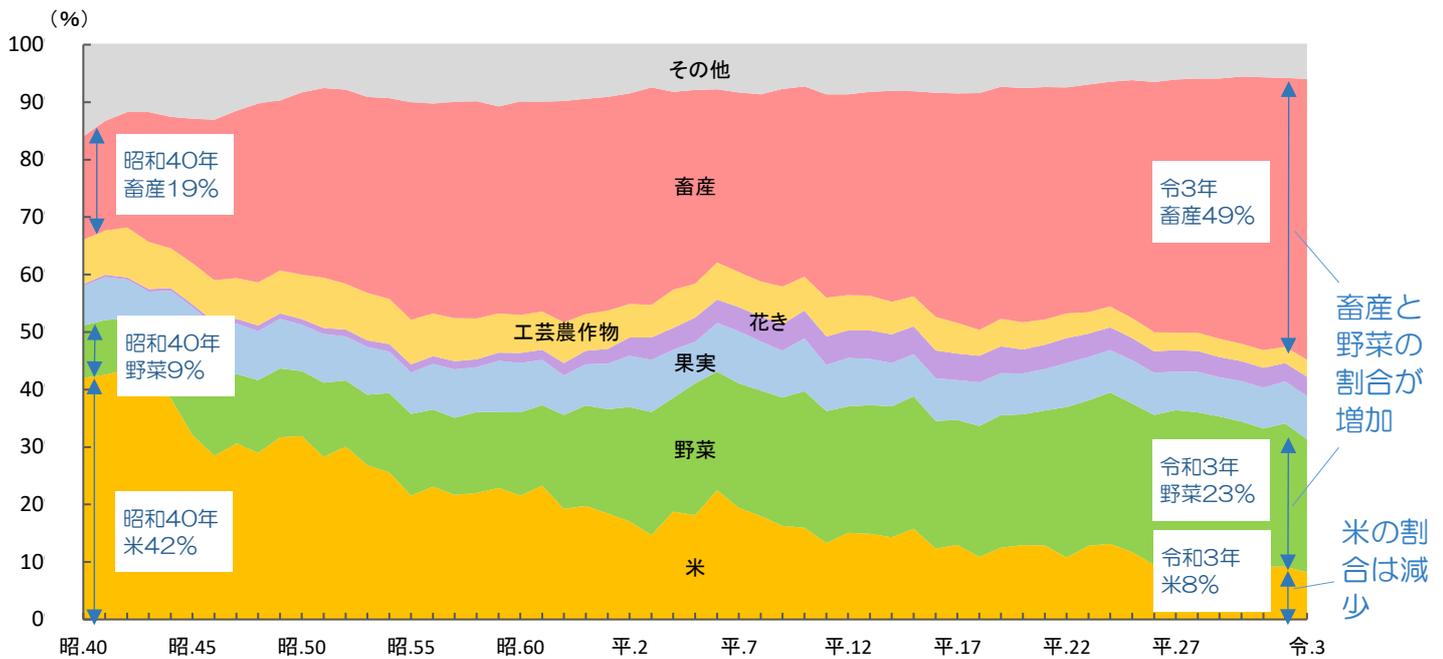
県別産出額の上位品目（令和3年）（数値は億円）

順位	都道府県合計	九州	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島
1	米 13,751	肉用牛 3,169	米 327	米 223	肉用牛 265	肉用牛 454	米 178	肉用牛 815	肉用牛 1,240
2	生乳 7,863	豚 2,008	いちご 218	肉用牛 181	ばれいしょ 148	トマト 362	肉用牛 139	ブロイラー 739	豚 900
3	肉用牛 7,662	ブロイラー 1,833	鶏卵 113	みかん 148	豚 125	米 302	豚 112	豚 518	ブロイラー 736
4	豚 6,445	米 1,469	ぶどう 86	ブロイラー 87	みかん 120	生乳 300	生乳 81	きゅうり 167	鶏卵 316
5	鶏卵 5,549	鶏卵 746	生乳 83	いちご 86	いちご 115	豚 255	ねぎ 71	米 159	ばれいしょ 184
6	ブロイラー 3,740	生乳 700	肉用牛 75	たまねぎ 72	米 105	みかん 169	ブロイラー 57	ピーマン 110	米 176
7	トマト 2,182	いちご 654	なす 59	豚 51	ブロイラー 78	いちご 140	鶏卵 47	鶏卵 106	茶(生葉) 152
8	ぶどう 1,902	トマト 571	みかん 52	きゅうり 33	鶏卵 52	すいか 119	いちご 36	生乳 84	さとうきび 130
9	いちご 1,834	みかん 567	トマト 50	アスパラガス 24	生乳 48	メロン 115	みかん 34	トマト 62	かんしょ 118
10	りんご 1,657	ばれいしょ 374	ねぎ 48	ねぎ 18	トマト 40	ブロイラー 107	日本なし 30	だいこん 50	生乳 88

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計（都道府県別推計）」

●九州は米を中心とした農業から、畜産と野菜を中心とした農業へと変わってきています。

●九州の農業産出額部門別構成比の推移（昭和40年～令和3年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計（都道府県別推計）」

九州の農業産出額の部門別の構成比をみると、畜産は昭和40年では18%でしたが令和3年には49%に、野菜は9%から23%と大幅に増加しました。

一方、米は42%から8%と大幅に減少し、米を中心とした農業から畜産、野菜を中心とする農業へと推移しています。

その結果、農業産出額の全国上位10道県に昭和40年には九州は1県も入っていませんでしたが、令和3年は畜産や野菜の生産が盛んな鹿児島県、宮崎県、熊本県の3県がランクインしています。

全国上位20市町にはその3県から9市町がランクインし、うち宮崎県都城市は3年連続で全国1位となっています。

●農業産出額の全国上位10道県（令和3年）

全国順位	都道府県	農業産出額	(参考)九州他県の順位と農業産出額	
1位	北海道	13,108	16位	福岡県 1,968
2位	鹿児島県	4,997	20位	長崎県 1,551
3位	茨城県	4,263	25位	大分県 1,228
4位	宮崎県	3,478	27位	佐賀県 1,206
5位	熊本県	3,477		
6位	千葉県	3,471		
7位	青森県	3,277		
8位	愛知県	2,922		
9位	栃木県	2,693		
10位	岩手県	2,651		

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計（都道府県別推計）」

●農業産出額の全国上位20市町（令和3年）

全国順位	都道府県	市町村	農業産出額	全国順位	都道府県	市町村	農業産出額
1位	宮崎県	都城市	9,015	11位	千葉県	旭市	4,481
2位	愛知県	田原市	8,489	12位	鹿児島県	曾於市	4,420
3位	北海道	別海町	6,664	13位	熊本県	菊池市	4,084
4位	茨城県	銚田市	6,414	14位	愛知県	豊橋市	3,835
5位	青森県	弘前市	5,236	15位	群馬県	前橋市	3,698
6位	新潟県	新潟市	5,098	16位	鹿児島県	大崎町	3,581
7位	静岡県	浜松市	5,069	17位	鹿児島県	南九州市	3,501
8位	熊本県	熊本市	4,607	18位	岩手県	一関市	3,412
9位	鹿児島県	鹿屋市	4,583	19位	鹿児島県	出水市	3,356
10位	栃木県	那須塩原市	4,557	20位	熊本県	八代市	3,260

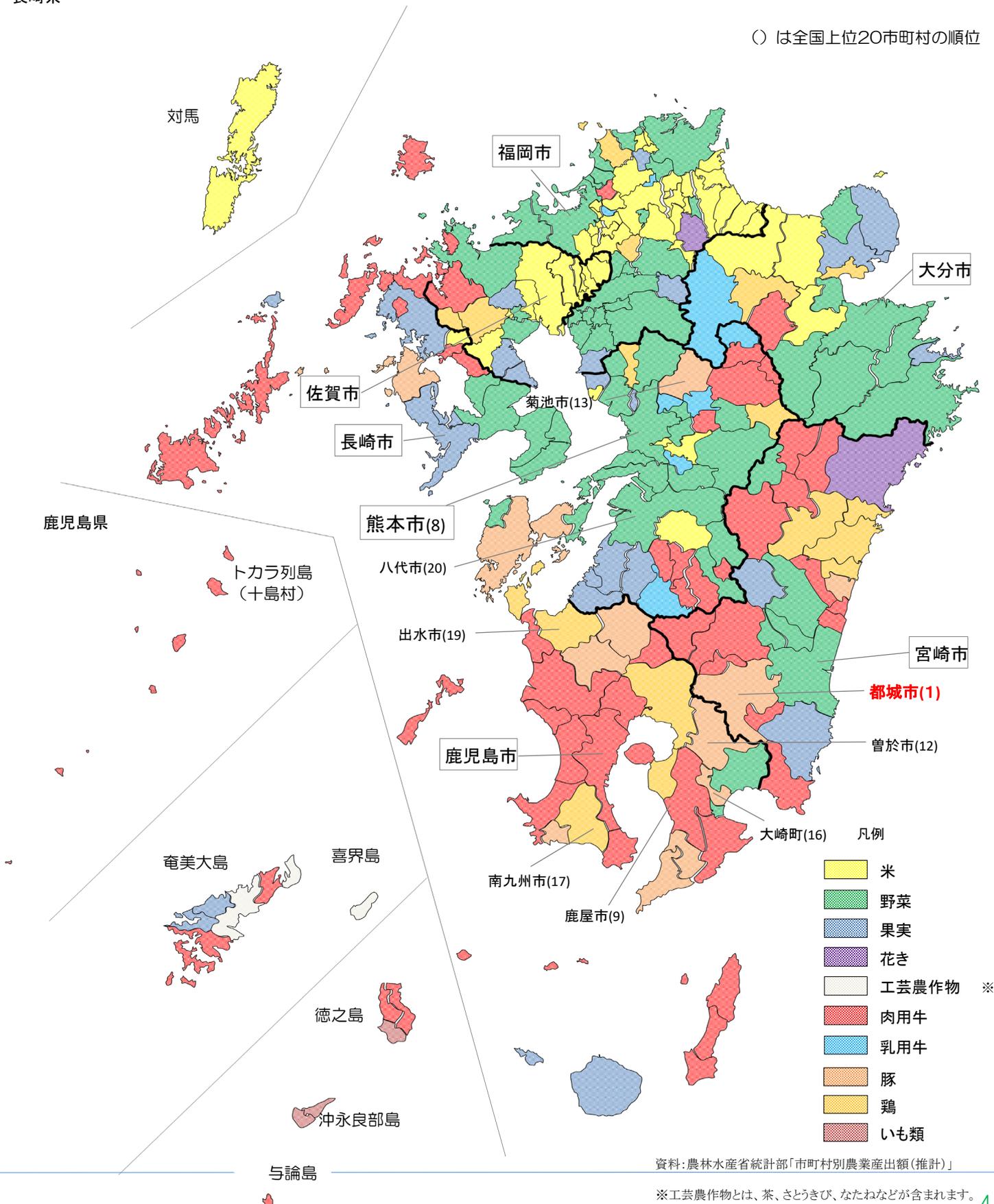
資料：農林水産省統計部「市町村別農業産出額（推計）」

●九州北部は稲作、中央部は野菜作、南部では畜産が盛んです。

●市町村別にみた農業産出額の最も多い部門（令和3年）

長崎県

○ は全国上位20市町村の順位



与論島

農業従事者の高齢化や農業経営体の減少は続いています。

九州の農業経営体数は、平成22年から令和2年までの10年間で33%減少しています。また、主に農業に従事した者（基幹的農業従事者）の高齢化が進行しており、平均年齢では全国をやや下回るものの、65歳以上の占める割合が10年前から7ポイント以上増えています。

また、65歳以上の農業経営者の経営耕地面積が全体の半分以上を占め、そのうち後継者がいない経営者の面積割合が59%となっています。

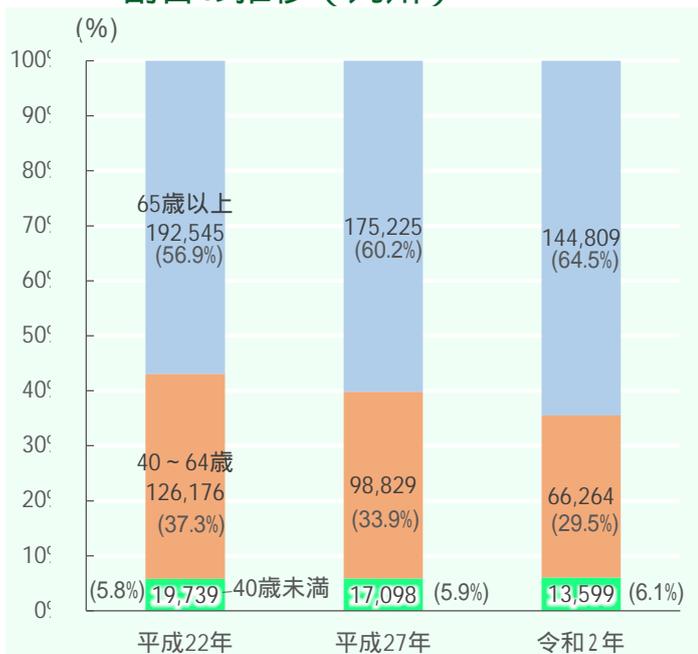
注：基幹的農業従事者の平均年齢は平成22年と27年は販売農家、令和2年は個人経営体の数値です。

農業経営体数の推移（九州）及び基幹的農業従事者の平均年齢



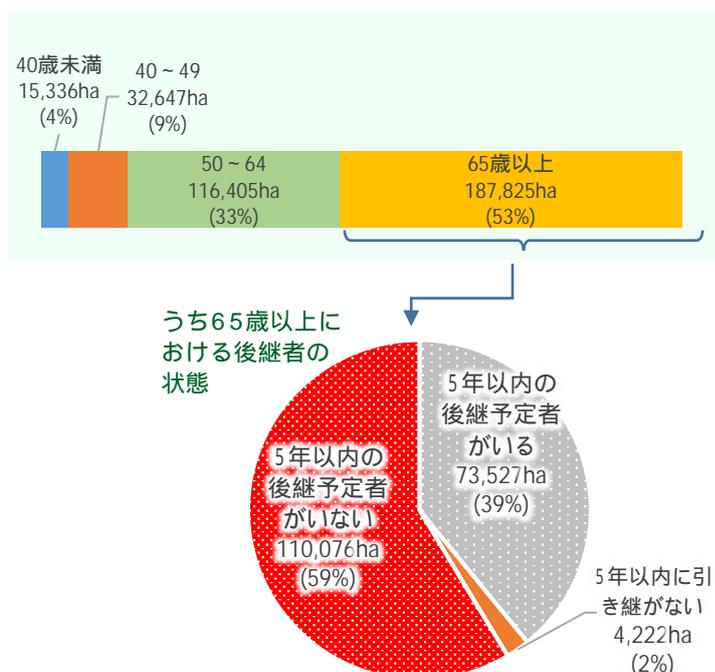
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」（以下同じ）

基幹的農業従事者の年齢別構成割合の推移（九州）



注：四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合があります。

農業経営者の年齢別経営耕地面積（九州）（令和2年）



農業経営体とは...

農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭羽数が、一定の基準以上の事業を行う者をいいます。

基幹的農業従事者とは...

個人経営体（平成27年までは販売農家）の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者（家事や育児が主体の主婦や学生等は含まない）をいいます。

個人経営体とは...

農業経営体のうち、個人（世帯）で事業を行う経営体をいいます。なお、法人化して事業を行う経営体は含みません。

規模の大きい農業経営体は着実に増加しています。

販売金額規模別農業経営体数の増減率
(九州) (令和2年/平成22年)



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」(以下同じ)

九州の販売金額規模別の農業経営体数をみると、販売金額3,000万円以上の大規模な経営体数は増加しています。

また、農業経営体数が減少する中、農業経営体に占める法人経営体の割合が増加し、着実に法人化が進んでいます。

販売金額1億円以上の農業経営体の推移

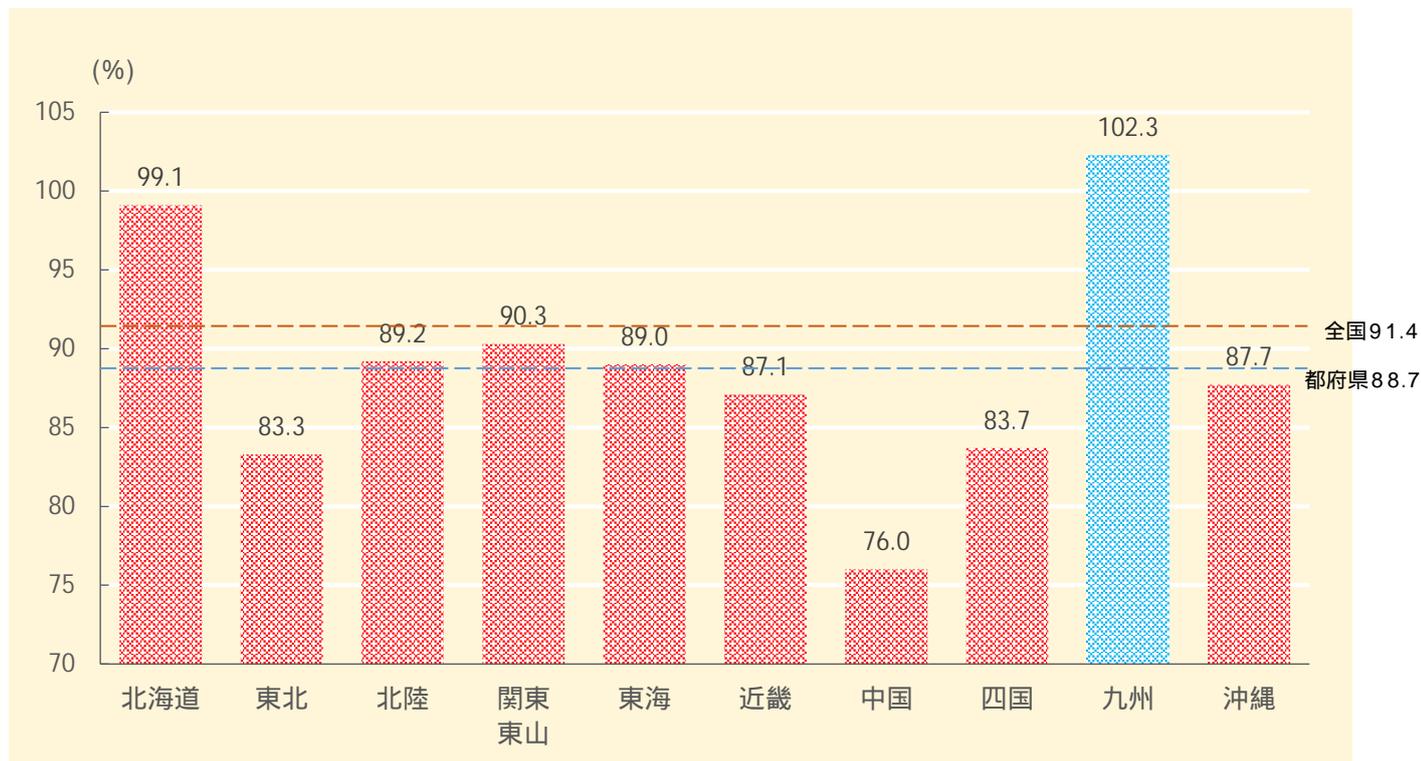


法人化している農業経営体の推移



農地の利用度は全国で最も高い水準です。

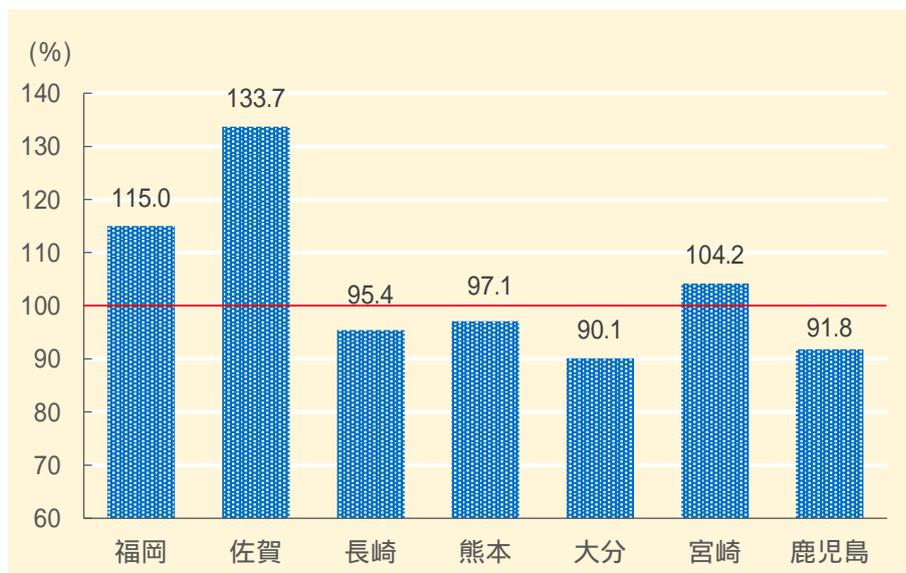
地域別耕地利用率（令和3年）



資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

九州の耕地利用率は、二毛作が盛んな地域であることから、全国平均を大きく上回っています。九州各県別にみると、福岡県や佐賀県では水田を活用した裏作麦、宮崎県では飼料作物の作付けが盛んに行われているため、これらの県で高くなっており、九州では農地が効率よく利用されていることがわかります。

九州各県別の耕地利用率（令和3年）



資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

耕地利用率とは...

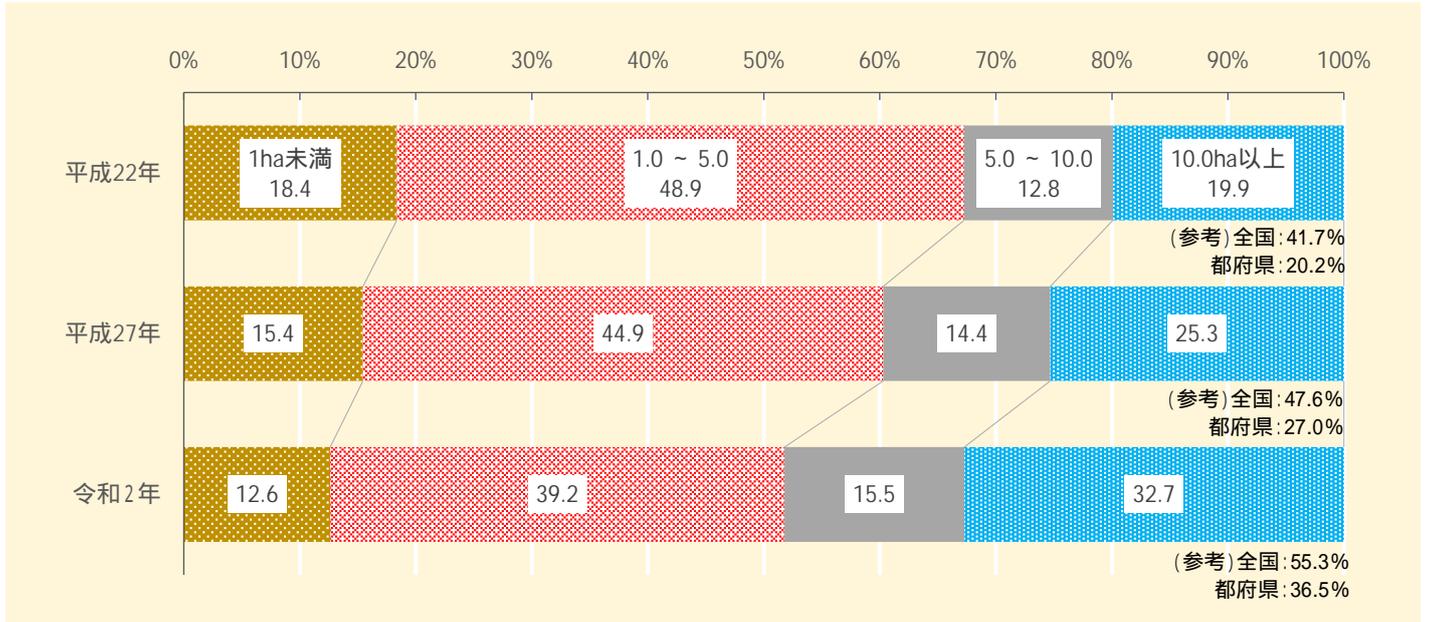
耕地とは農作物を栽培することを目的とした土地のことをいい、耕地利用率は、 $(1 \text{ 年間の作付延べ面積} \div \text{耕地面積}) \times 100\%$ で出されます。この割合が高いと耕地を有効利用しているということになります。

二毛作とは...

同じ耕地で1年間に2回作物を栽培することです。

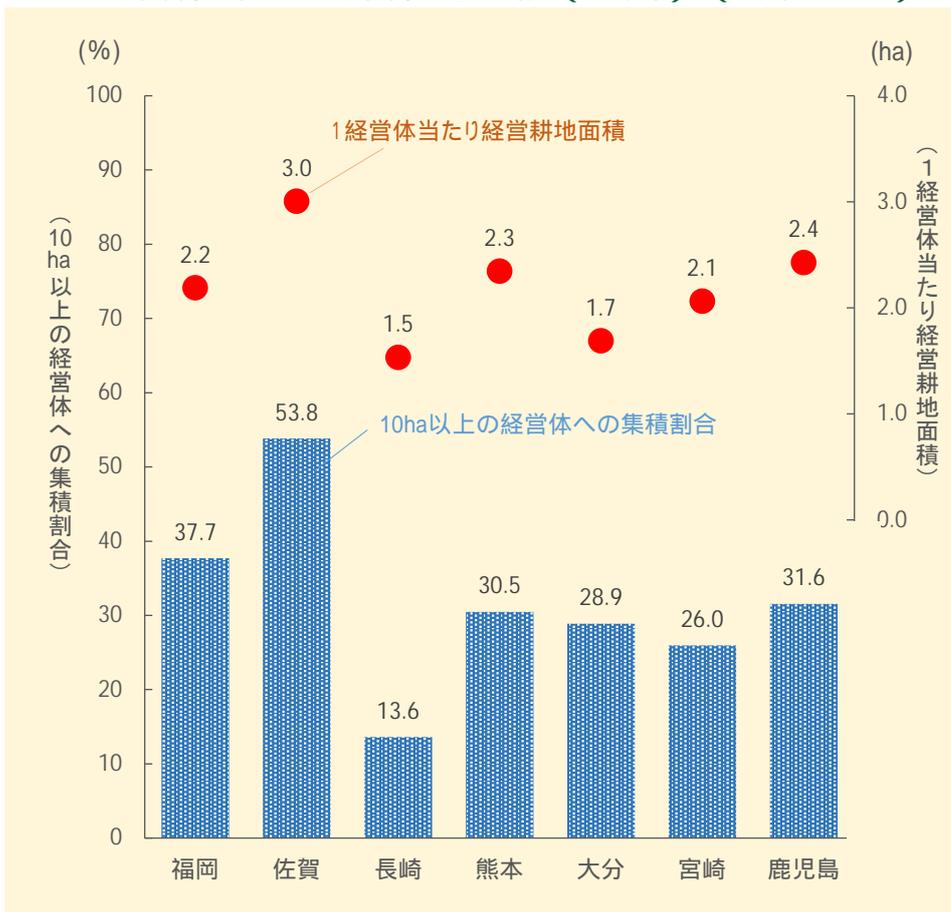
規模の大きい経営体の農地集積割合が高まっています。

経営耕地面積規模別にみた集積割合（九州）



資料: 農林水産省統計部「農林業センサス」

10ha以上の経営体への集積割合と 1経営体当たり経営耕地面積（九州）（令和2年）



資料: 農林水産省統計部「農林業センサス」

経営耕地面積規模別の集積割合を年次別にみると、10ha以上の経営耕地がある経営体が集積する面積の割合が増加しています。これは全国及び都府県も同じ傾向となっており、農地の集積が進み、経営体の大規模化が進んでいることとなります。

10ha以上の経営体への集積割合を九州各県別にみると、集落営農組織等による農地集積が進んでいる佐賀県が最も高く、次いで福岡県、鹿児島県の順となっています。

農林水産物等の輸出は増加しています。

農林水産物・食品額の推移（九州地域税関分）



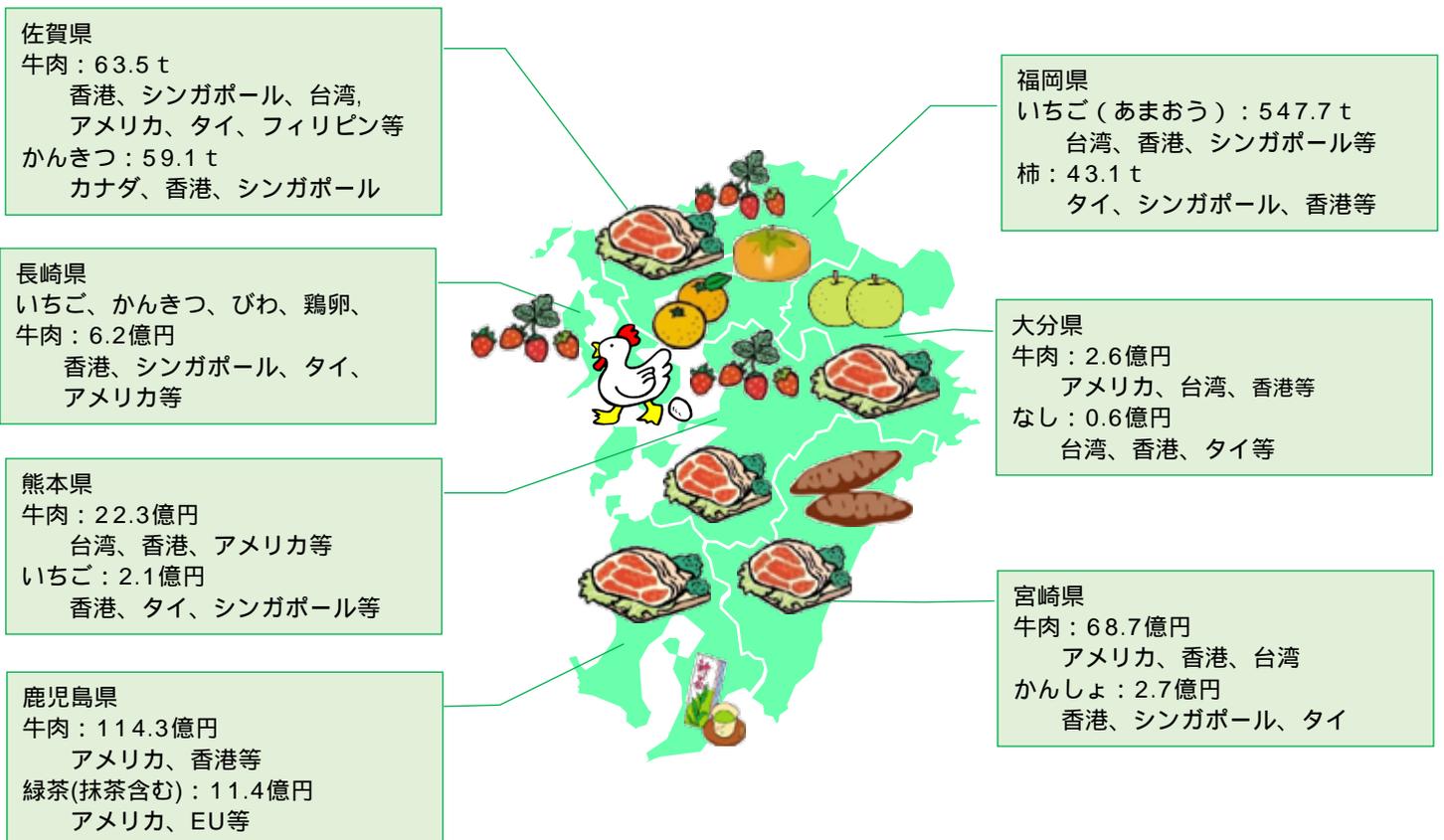
対前年比21.1%増
過去最高額を更新
(全国は14.3%増)

九州では、地理的条件を活かし農林水産物等の輸出の拡大に取り組んでおり、5年前に比べて70%以上増加しています。

主な品目では、牛肉、かんしょ、いちごなどの農産物が、香港、シンガポール、台湾などの国、地域へ輸出されています。

資料:九州農政局「見たい! 知りたい! 九州農業2023」
(財務省貿易統計をもとに九州地域の港からの輸出額を九州農政局で参考集計)

九州各県の主な農畜産物の輸出（令和3年度）



注:長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県は金額ベース。

資料:九州農政局調べ(各県からの聞き取り)

「美しく活力ある農山漁村」実現のためにさまざまな取組が行われています。

むら

～「ディスカバー農山漁村の宝」優良事例紹介～

令和4年度
第9回選定地

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

天明環境保全隊（熊本県）

守り伝えよう環境と文化 ～地域、学校、福祉の連携～



概要

・30集落14団体（福祉事業所含む）のべ3,546人の隊員で構成。平成19年に設立し、様々な農村環境保全活動、文化活動を実施。

成果

・様々な活動の継続が、地域（人）のネットワークの構築や住民の理解醸成につながり農業後継者を創出。

社会福祉法人小国町社会福祉協議会（熊本県）

小国のゆめ、それは私たちのゆめ



概要

・協議会が運営する「大豆工房小国のゆめ」では、荒廃農地を活用して大豆等を栽培し、豆腐等に加工販売するほか、農福連携レストラン「天空の豆畑」を経営するなど、障がい者の所得向上にも寄与。

成果

・地域住民の要望に応え、荒廃農地からの借地面積は2ha（平成29年度）から9ha（令和3年度）に増加。

瀬川 知香（鹿児島県）

農業×観光で課題解決と新たな価値の創出



概要

・移住後、商店街の中に1棟貸切の宿を運営するほか、茶畑の中の空き家古民家を農泊施設に整備し、地域の農産物・加工商品を販売するとともに観光プログラムを開発。

成果

・プライベートを保てる一日一組限定の古民家での宿泊者数はコロナ禍でも260人（平成29年度）から300人（令和3年度）に増加。

一般社団法人 E' more秋名（鹿児島県）

50年後も子ども達が住みたいと思う地域づくり



概要

・過疎が進む地域で宿泊事業に取り組むとともに学生インターンを住み込みで受け入れて関係人口を創出。

成果

・地域の主婦が旬の地場産食材で島料理を提供し、若手主婦が調理を補助することで食と暮らしづくりを伝承。

資料：農林水産省農村政策部「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（以下同じ）

上記は全国版で選定された地区ですが、九州内において応募のあった事例の中には、これら以外にも優れた取り組みがあることから、九州の地域資源を活用した優れた取り組みについて選定し、広く発信することにより他地域への横展開を図ることとしています。

そして、令和4年度九州農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定審査委員会では、次の3地区を選定しました。

県・市町村名	地区・団体・個人名	取組概要
大分県 中津市	農事組合法人 樋桶の郷	環境保全型農業の取り組みによる関係人口の増加と人材の確保、育成。
鹿児島県 鹿児島市他	かごしま深海魚研究会	新たな水産物・食の魅力の発掘と「うんまが深海魚」のブランド化による水産業、外食産業、観光産業の活性化。
鹿児島県 龍郷町	株式会社リーフエッチ あまみん	農福連携で得たフルーツと南西諸島の各島の素材を集めたジェラートを確立、利用者の工賃向上を実現。

九州各県別主要指標

九州管内農林水産統計指標(令和5年7月1日現在)

項目	単位	年次	全国	九州	九州のシェア等	摘要(資料名)	
総土地面積	km ²	R4	377,973	注3 42,230	11.2	「令和4年(10月1日時点)全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)	
耕地面積	ha	R4	4,325,000	511,100	11.8	「作物統計(面積調査)」(令和4年)	
耕地率	%	R4	11.6	12.1	注2 0.7	//	
耕地利用率(田畑計)	%	R3	91.4	102.3	注2 10.9	「令和3年農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率」	
農業経営体数	経営体	R2	1,075,705	164,560	15.3	「2020年農林業センサス」	
うち法人数	経営体	R2	30,707	5,498	17.9	//	
経営耕地のある1経営体当たり経営耕地面積	a	R2	305	219	注2 Δ86	// (経営耕地総面積/経営耕地のある経営体数)	
総農家数	戸	R2	1,747,079	247,411	14.2	「2020年農林業センサス」	
うち販売農家数	戸	R2	1,027,892	156,940	15.3	//	
基幹的農業従事者数(個人経営体)	人	R2	1,363,038	224,672	16.5	//	
// 平均年齢	歳	R2	67.8	66.4	注2 Δ1.4	//	
集落営農数	集落営農	R4	14,364	2,233	15.5	「集落営農実態調査」(令和4年)	
農業産出額	億円	R3	88,600	17,905	20.2	「生産農業所得統計」(令和3年)	
水稻作付面積(子実用)	ha	R4	1,355,000	150,100	11.1	「作物統計(面積調査)」(令和4年)	
飼養頭羽数	乳用牛	頭	R4	1,371,000	103,100	7.5	「畜産統計調査」(令和4年2月1日現在)
	肉用牛	頭	R4	2,614,000	941,700	36.0	//
	豚	頭	R4	8,949,000	2,800,000	31.3	//
	採卵鶏(種鶏除く)	千羽	R4	180,096	23,368	13.0	//
	ブロイラー	千羽	R4	139,230	70,026	50.3	//

項目	単位	年次	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	
総土地面積 注1	km ²	R4	4,988	2,441	4,131	7,409	6,341	7,734	9,186	
耕地面積	ha	R4	78,900	50,200	45,700	105,900	54,200	64,400	111,800	
耕地率	%	R4	15.8	20.6	11.1	14.3	8.5	8.3	12.2	
耕地利用率(田畑計)	%	R3	115.0	133.7	95.4	97.1	90.1	104.2	91.8	
農業経営体数	経営体	R2	28,375	14,330	17,936	33,952	19,133	21,117	29,717	
うち法人数	経営体	R2	871	349	387	1,077	718	758	1,338	
経営耕地のある1経営体当たり経営耕地面積	a	R2	219	301	153	235	169	206	243	
総農家数	戸	R2	41,351	18,645	28,282	47,879	31,954	30,940	48,360	
うち販売農家数	戸	R2	27,187	13,293	17,329	32,529	18,099	20,304	28,199	
基幹的農業従事者数(個人経営体)	人	R2	38,077	19,015	25,107	51,827	21,496	31,570	37,580	
// 平均年齢	歳	R2	66.7	65.9	65.4	65.4	70.1	65.9	66.8	
集落営農数	集落営農	R4	563	507	105	394	464	99	101	
農業産出額	億円	R3	1,968	1,206	1,551	3,477	1,228	3,478	4,997	
水稻作付面積(子実用)	ha	R4	33,400	22,800	10,400	31,300	18,900	15,400	18,000	
飼養頭羽数	乳用牛	頭	R4	11,700	2,140	6,530	43,600	12,500	13,600	13,100
	肉用牛	頭	R4	23,400	52,800	88,100	133,600	51,500	254,500	337,800
	豚	頭	R4	82,000	82,600	195,900	339,400	136,900	764,200	1,199,000
	採卵鶏(種鶏除く)	千羽	R4	3,244	267	1,798	2,493	1,067	2,768	11,731
	ブロイラー	千羽	R4	1,444	3,637	3,117	3,848	2,291	27,599	28,090

※注1:「総土地面積」の、福岡県、熊本県、大分県、宮崎県及び鹿児島県は、県境をまたがる境界未定地域の面積を含みます。

※注2:全国値との差を表示。

※注3:「総土地面積」の九州値は、県別の合計。

※その他:統計値は、四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合があります。



九州農政局統計部統計企画課

電話:096-211-9111 (内線4923)

九州農政局ホームページアドレス <https://www.maff.go.jp/kyusyu/>